

選考経緯及び選考理由

国立大学法人お茶の水女子大学学長選考会議（以下「選考会議」という。）は、国立大学法人お茶の水女子大学学長選考規則（以下「規則」という。）及び同実施細則に基づき、平成26年7月1日に学長候補者の選考の公示を行い、続いて8月19日に学長候補者の資格を有すると認められる者の推薦の公示を行い、8月19日から9月11日までの間に推薦を受け付けたところ、河村哲也氏、菅本品夫氏、鷹野景子氏、三浦徹氏及び室伏きみ子氏（50音順）の5名の推薦があり、調査の上、いずれも学長候補適任者として選考した。

これら5名の学長候補適任者について、10月1日に意向投票管理委員会が意向投票の公示を行い、10月8日の所信表明会を経て10月15日に意向投票を行ったところ、投票資格者294名中271名の投票があり（投票率92.2%）、うち有効投票数は269票であった。得票数は、河村哲也氏61票、菅本品夫氏28票、鷹野景子氏37票、三浦徹氏60票、室伏きみ子氏83票であった。

選考会議は、10月21日に、推薦書、推薦理由書、承諾書、所信表明書、経歴書、意向投票結果を参考に、書類審査及び当該学長候補適任者との面談を実施し、大学運営の在り方等の諸課題について意見聴取・質疑応答を行い、慎重に審議を行った。その結果、グローバルな視点をもってリーダーシップを発揮できる女性の育成を教育の目標とする本学の学長として、これまで学内外の諸機関において多様な経験をもつ室伏きみ子氏を適任と認め、規則第10条の規定に基づき、国立大学法人お茶の水女子大学の次期学長候補者として決定した。

略 歴

(むろふし きみこ)

氏 名 室 伏 き み 子

生年月日 昭和22年 4月 9日生

昭和38年	3月	お茶の水女子大学附属中学校卒業	
	41年	3月	お茶の水女子大学附属高等学校卒業
	45年	3月	お茶の水女子大学理学部生物学科卒業
	47年	3月	お茶の水女子大学大学院理学研究科生物学専攻修士課程修了
	51年	3月	東京大学大学院医学系研究科基礎医学専攻（生化学）博士課程修了
昭和51年	4月	鶴見大学歯学部助手	
	52年	4月	The Public Health Research Institute of The City of New York Research Associate
	54年	10月	帝京大学医学部助手
	58年	4月	お茶の水女子大学理学部助手
平成	5年	6月	お茶の水女子大学理学部/大学院理学研究科講師
	8年	4月	お茶の水女子大学理学部/大学院理学研究科教授
	14年	4月	お茶の水女子大学理学部長
	16年	4月	国立大学法人お茶の水女子大学理事・副学長（研究／国際担当）
	25年	4月	国立大学法人お茶の水女子大学名誉教授
	25年	5月	国立大学法人お茶の水女子大学寄附研究部門教授（お茶の水女子大学 お茶大アカデミック・プロダクション）（現在に至る）